

ガラクトリピッド ガラクトシルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2410

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素はモノガラクトシルジアシルグリセロールをジガラクトシルジアシルグリセロール、トリガラクトシルジアシルグリセロール、テトラガラクトシルジアシルグリセロールに換えます。すべての残基はβ結合によって接続されています。この活性はクロロプラストのエンベロープ膜に局在していますが、植物における正味のガラクトリピッド合成には寄与せず、これはEC 2.4.1.46、モノガラクトシルジアシルグリセロールシターゼ、及びEC 2.4.1.241、ジガラクトシルジアシルグリセロールシターゼによって行われます。この酵素によって形成されるβ,β-ジガラクトシルジアシルグリセロールは、EC 2.4.1.241によって形成されるより一般的なα,β-ジガラクトシルジアシルグリセロールとは異なることに注意してください。この酵素は、凍結および干ばつストレスの際にクロロプラスト膜を安定化させるための重要なメカニズムを提供します。

別名 ガラクトリピッド-ガラクトリピッド ガラクトシルトランスフェラーゼ; ガラクトリピッド:ガラクトリピッド ガラクトシルトランスフェラーゼ; インタリピッド ガラクトシルトランスフェラーゼ; GGGT; DGDG シターゼ (あいまい); ジガラクトシルジアシルグリセロールシターゼ (あいまい); 3-(β-D-ガラクトシル)-1,2-ジアシル-sn-グリセロール:モノ-3-(β-D-ガラクトシル)-1,2-ジアシル-sn-グリセロール β-D-ガラクトシルトランスフェラーゼ; 3-(β-D-ガラクトシル)-1,2-ジアシル-sn-グリセロール:3-(β-D-ガラクトシル)-1,2-ジアシル-sn-グリセロール β-D-ガラクトシルトランスフェラーゼ; SFR2 (遺伝子名)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.4.1.184

CAS登録番号 66676-74-2

反応 $2 \text{ a } 1,2\text{-ジアシル-3-O-(}\beta\text{-D-ガラクトシル)-sn-グリセロール} = \text{a } 1,2\text{-ジアシル-3-O-}[\beta\text{-D-ガラクトシル-(1}\rightarrow\text{6)-}\beta\text{-D-ガラクトシル}]\text{-sn-グリセロール} + \text{a } 1,2\text{-ジアシル-sn-グリセロール}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期保存の場合は+4 °Cで保管してください。長期保存の場合は-20 °C~-80 °Cで保管してください。